



ふじかくちゃん

博物館利用の手引き  
【教職員用】  
2025年

富士山かぐや姫ミュージアム  
Mt.Fuji and Princess Kaguya Museum



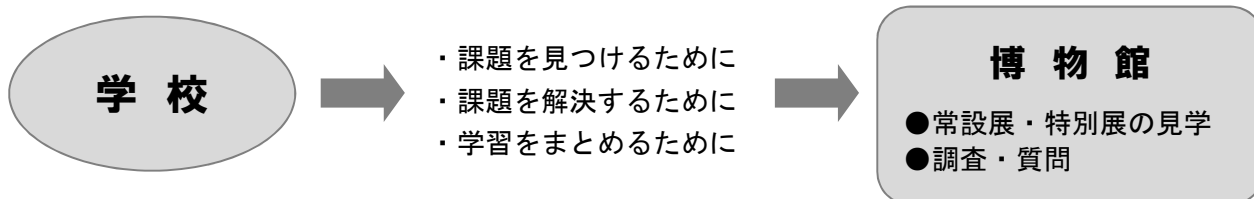
## 目 次

- ・ 学校との連携スタイル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・ 【見学】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・ 【体験学習】【出前授業】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・ 【資料・備品貸出】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・ 富士山かぐや姫ミュージアム本館・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ・ 歴史民俗資料館（博物館分館）・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
- ・ 富士川民俗資料館（博物館分館/稲葉家住宅）・小休本陣常盤家住宅主屋・・ 13
- ・ 広見公園ふるさと村歴史ゾーン・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ・ 富士市立博物館利用申込書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- ・ 資料借用申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- ・ 利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

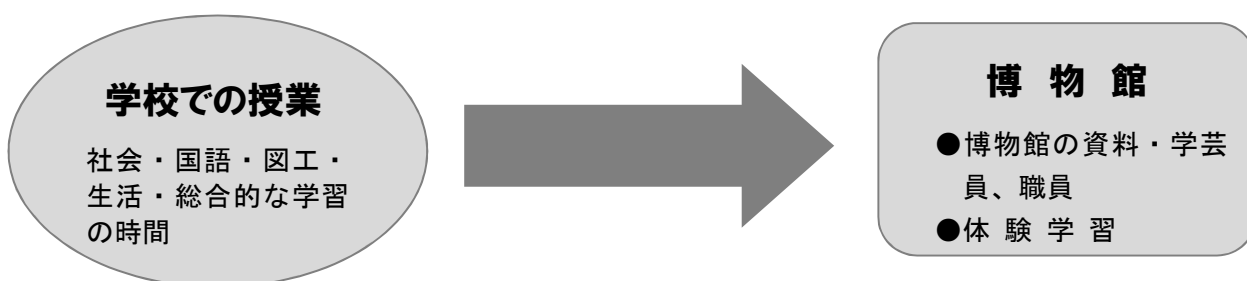
# 学校との連携スタイル

学習活動の支援のスタイルは4つあります。

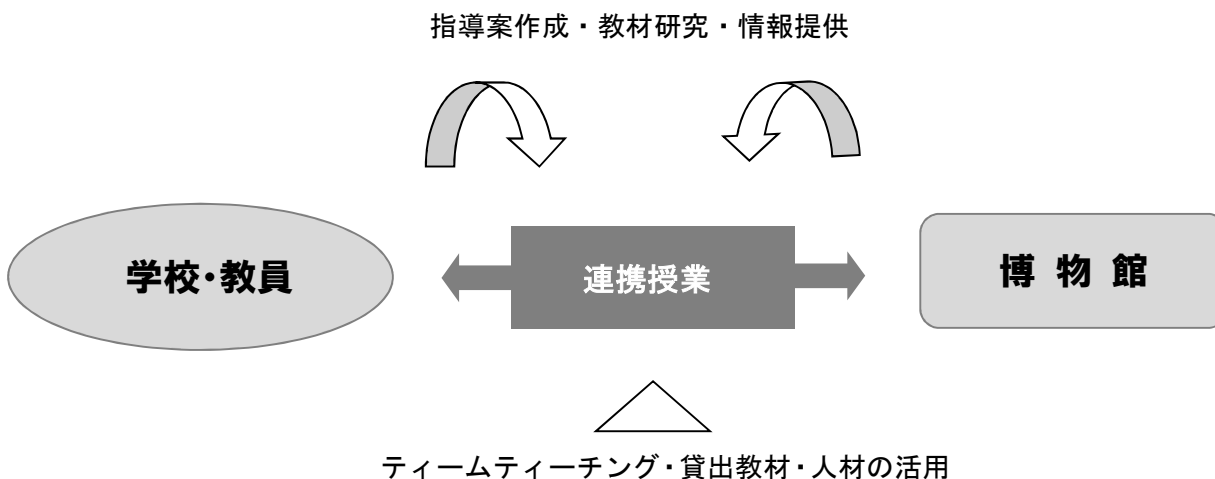
## (1) 博物館の見学を中心とするスタイル



## (2) 博物館の資料や人材を活用するスタイル（体験学習）



## (3) 出前授業のスタイル



## (4) 博物館の貸出資料を学校の授業で活用するスタイル



開館日の 8:30~17:15 に

## 【見学】

①電話で仮予約  
0545-21-3380

学校からお知らせいただくこと

- ・学校名 ・学年 ・人数 ・ご利用希望日時
- ・窓口となる先生のお名前
- ・その他(利用目的、昼食の有無など)
- ・下見日程相談 ・パンフレットの配布など

なるべくお早目に

~約2か月前

②事前打ち合わせ  
下見

目的に合わせて有効に博物館をご利用いただくため、当日の見学や体験について話し合います。

- ・見学コース、体験内容、グループ分け、利用場所、昼食の有無、見学時の説明の有無などを決めていきます。所要時間は約1時間です。

※博物館の開館時間は9:00~17:00です。

~約1か月前

③博物館利用  
申込書の提出

博物館利用申込書は、下見時にお渡ししたものを  
ご利用いただくか、本手引き P16 の利用申込書、  
または当館ウェブサイトご利用案内のページから  
ダウンロードしてください。FAX 可。

FAX : 0545-21-3398

~約2週間前

④当日  
利用人数報告

博物館にお越しいただいたら、入館前に窓口まで利用者数(児童・生徒数、  
教員数、ボランティアなどの引率者)をお知らせください。

※天候条件などにより見学を延期・中止する場合は、お早めに連絡をしてください。

### ●入館料について

大人・小人や居住地を問わず、すべての方が無料で展示をご観覧いただけます。ただし、有料の特別展開催時には学校見学時においても観覧料をいただく場合がありますので、あらかじめご相談ください。

### ●見学の際の注意点 (来館される前にあらかじめ児童・生徒の皆様にご指導願います。)

- ・展示物にはお手を触れぬようお願いいたします。一部、「さわって OK」等のサインのある資料については、くれぐれも大事に扱っていただくようお願いいたします。
- ・「撮影不可」のサインのある資料を除き、展示室内および展示物の写真撮影や SNS・ウェブサイト等への掲載をしていただくことができます。
- ・パソコン画面、操作ボタンなどは丁寧に扱ってください。
- ・館内で走ったり、騒いだりしないでください。他のお客様のご迷惑にならないようお願いいたします。
- ・館内での飲食はご遠慮ください(1Fホールは飲み物のみ OK です)。
- ・公園見学後の入館は、衣服の汚れや靴の土、芝をはらってから見学してください。
- ・忘れ物がないよう、帰り際にはご確認ください。
- ・屋外移築復元家屋も大切な文化財です。ご予約いただいた場合の旧稲垣家住宅を除き、基本的には建物内に上がることはできません。

## 富士川民俗資料館・小休本陣常盤家住宅主屋を見学する場合

・富士川民俗資料館および旧小休本陣常盤家住宅主屋の開館日は、土・日・祝日です。平日(博物館開館日)に見学希望の場合は、富士山かぐや姫ミュージアムへ2か月前までにご連絡いただき、博物館利用申込書(本手引き P16)を提出してください。

・富士川民俗資料館および小休本陣常盤家住宅主屋には大型専用駐車場がございません(富士川民俗資料館には小型専用駐車場があります)。鉄道・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

・富士川民俗資料館および小休本陣常盤家住宅主屋は建物内に上がることはできません。

### ●よくある質問

Q：大型バスを停める駐車場はありますか？

A：3台までなら、博物館駐車場に停めることができます。ただし、混雑する時期、または4台以上でお越しの場合は富士市施設利用振興公社へご連絡の上、広見公園大型駐車場をご利用ください。

【富士市施設利用振興公社の連絡先】☎0545-55-3553

Q：お弁当を食べる場所はありますか？

A：お天気のよい日は広見公園をご利用ください(ごみは必ずお持ち帰りください)。広見公園ご利用の際は、上記、富士市施設利用振興公社へご連絡願います。博物館施設に昼食場所は原則ございません。ご了承ください。

Q：他の場所の見学を予定していて、雨天の時だけ利用したいというような申込みもできますか？

A：雨天時利用だけの申込みも可能です。通常利用と同様に利用申込書(P16)をご提出ください。

Q：A E D (自動体外式除細動器)はどこにありますか？

A：本館1階の講座室前にあります。



富士山かぐや姫ミュージアム 〒417-0061 富士市伝法 66-2  
Tel : 0545-21-3380 Fax : 0545-21-3398  
<https://museum.city.fuji.shizuoka.jp/>

## 【体験学習】 【出前授業】

開館日の 8:30~17:15 に

### ●利用の手続き

#### ①電話で仮予約

0545-21-3380

学校からお知らせいただくこと

- ・学校名 ・学年 ・人数 ・希望日時
- ・窓口となる先生のお名前 ・その他(学習の目的・内容など)

※内容によって異なりますが、実施日の2か月前までにお申込みください。

※月曜日と、祝日の翌日は原則休館日となります。事前に当館ウェブサイトなどで確認してください。

学習のご要望をお聞きしながら、内容や構成について打合わせをします。

体験授業の計画書をご用意ください。材料費の実費負担を伴うものや、材料の対応可能人数、職員の勤務状況により、対応できない場合があります。あらかじめご了承ください。

なるべくお早目に

～約2か月前

#### ②事前打ち合わせ

～約1か月前

#### ③利用申込書の提出

博物館利用申込書は、本手引書P16の利用申込書、または当館ウェブサイトご利用案内のページからダウンロードしてください。FAX可。

FAX: 0545-21-3398

～約2週間前

社会科、総合的な学習（歴史・民俗など文化系）などでの御利用をお願いします。  
自然教室や防災教育を目的とした野外体験への対応はできません。

### ●富士山かぐや姫ミュージアム 体験学習メニュー

体験名	会場	申込期限	内容と諸注意	所要時間
①手すきハガキ体験	博物館 または 学校	2か月前	<b>地域の主要な産業である製紙産業と、伝統工芸の紙すきへの理解を促すには最適な体験です。</b> ・原料は三桮（みつまた）です。体験料として1枚につき50円、体験当日にお支払いください。 ・学校を会場とする場合は、水が使用できる教室をご用意ください。	1クラス 約1時間
②昔の道具体験	博物館 または 学校	2か月前	<b>明治～昭和期に庶民が使ったくらしの道具について、学芸員による説明や実演のほか、児童・生徒による体験もできます。</b> ・学校では体育館などの広い室内で行います。 ・博物館見学時に稲垣家で行うこともできます。	約45～60分
③かまど炊飯体験	博物館	2か月前	<b>旧稲垣家住宅のかまどを使い、炊飯を行います。</b> ・米と薪は学校でご用意ください（前日までにお届けください）。	約2時間
④古代体験	博物館 または 学校	2か月前	<b>粘土を使ってペンダントやミニミニ埴輪などを制作します。</b> ・体験料として1個100円体験当日にお支払いください。 ・学習のねらいや児童数などにより、焼成作業は学校で行う場合（約2時間）と、博物館で焼成し後日お渡しする場合があります。	約60～90分 (本焼成を除く)



⑤火おこし体験	博物館 または 学校	2か月前	<b>原始・古代体験として、弓ぎり式の火おこし体験ができます。</b> ・見学時にも体験が可能です。打合せ時にお申込みください。 ・道具に限りがございますので、1回につき、予め10グループ以内に班分けしてください。着火補助材（事前に説明）をご用意ください。	約30分～ 1時間
⑥勾玉作り	博物館 または 学校	2か月前	<b>原始・古代体験として、サンドペーパーで滑石を削り、勾玉のペンダントを作ります。</b> ・材料となる滑石・サンドペーパー等は学校でご用意ください。教材の勾玉キットを使用する場合は、追加で40番の布やすりを一人1/6枚ずつをご用意ください。	約2時間 (学習内容により1時間コースもあり)
⑦古代の炊飯体験	博物館 または 学校	2か月前	<b>原始・古代体験として、当地域特有の台付甕を用いた炊飯体験ができます。</b> ・米と薪は学校でご用意ください。	約1時間
⑧縄文土器作り	博物館 または 学校	2か月前	<b>原始・古代体験として、一人500gの粘土を使い、縄文土器を作成します。基本は成形のみ。焼成は別になります。</b> ・粘土は学校でご用意ください。	1クラス 3時間
⑨土器焼き体験	学校	2か月前	<b>⑧で作成した土器を古代の方法で焼き上げます。あぶり、本焼成に時間がかかりますのでその間に⑤、⑥、⑦などの体験を取り入れるとより効果的です。</b> ・野焼き可能な場所の確保をお願いします。 ・材料（薪等）・道具等は学校でご用意ください。 ・年間2～3校程度の実施となります(先着順)。	終日
⑩職場体験	博物館	2か月前	<b>博物館の仕事を1日体験していただきます。</b>	終日

※所要時間はおよその目安です。学習のねらいや児童数により柔軟に対応します。ご相談ください。



手すきハガキ体験（メニュー①）



かまど炊飯体験（メニュー③）



火おこし体験（メニュー⑤）



縄文土器作り（メニュー⑧）

## ●富士山かぐや姫ミュージアム出前授業例

分野	内容 (テーマ)
考古	富士市の古墳、富士市の遺跡、遺跡でみる災害の爪あと
歴史	ロシアの黒船ディアナ号、東海道吉原宿、浮島沼開発、富士川舟運と渡船、東泉院の歴史、江戸時代の暮らし、富士の災害史、雁堤と富士川の歴史、信長・秀吉・家康と富士、孝子五郎右衛門、戦国時代の富士
民俗	地域のおまつり、むかしの暮らしと道具、お茶について、水と暮らし、養蚕について
紙	富士川流域の手すき和紙、富士市の近代製紙、地場産業としての製紙業
富士山	富士山のかぐや姫物語と伝承地、富士山の成り立ち、富士山登山道、富士山信仰
その他	各校区の歴史や文化財、地理などの見所紹介や現地案内、博物館における仕事（キャリア教育）、フィールドワークの方法、郷土の伝統と文化の尊重について、道徳や総合的な学習の時間の活用など

※上記以外の内容でも、ご要望に応じて対応します。お気軽にご相談ください。

## 【資料・備品貸出】

### ●利用の手続き

開館日の 8:30~17:15 に

①電話で仮予約  
0545-21-3380

貸出中やすでに予約が入っている場合がありますので、必ず事前にご連絡ください。

なるべくお早目に

～約2か月前

②資料借用  
申請書の提出

資料借用申請書は本手引き P17 をコピーいただくか、または当館ウェブサイトご利用案内のページからダウンロードしてください。FAX 可。

～約1か月前

FAX : 0 5 4 5 - 2 1 - 3 3 9 8

③借 用

資料はいずれも手渡しです。受け渡しは博物館でおこないますので、ご担当の先生は博物館までお越しください。借用期間は原則2週間以内とします。借用期間中は鍵のかかる部屋で保管願います。

貸出期間  
2週間

④返 却

返却も手渡しです。博物館にお越しいただき、ご返却ください。資料は必ず元の状態でご返却ください。

※借用・返却ともに、開館日の午後4時半までにお越しください。

社会科、総合的な学習（歴史・民俗など文化系）などでのご利用をお願いします。  
自然教室や防災教育を目的とした野外体験への対応はできません。



## ●貸出資料一例

	資 料 名	
レプリカ・実物資料	考 古	縄文土器 縄文土器片 弥生土器 奈良時代瓦 黒曜石など
	歴 史	火縄銃（一定の条件あり） 江戸時代の旅道具（矢立、印籠） 太平洋戦争中の衣類 鉄兜 日用品 配給切符
	民 俗	着物 手回し洗濯機 湯たんぽ 柱時計 ラジオ おひつ 羽釜 炭火アイロン 洗濯板など
	製 紙	楮(原木、甘皮、白皮) 三桮(白皮) 雁皮(甘皮)
体験道具	考 古	火おこしセット
	民 俗	ショイコ 天秤棒 洗濯板 たらい 千歯こき とつみ 足踏脱穀機 石臼 ふるい ハケなど
映像 (各 15 分程度)	考 古	富士市の古墳など
	歴 史	曾我供養祭など
	民 俗	石に刻んだ心 鶺鴒無ヶ淵神明宮の御神楽 吉原祇園祭 岩淵鳥居講など
	製 紙	紙ができるまで 富士市の製紙業など
写真・パネル	特別展示等で使用した写真やパネルが各種あります。	

※上記以外の資料でも貸出可能な場合がありますので、遠慮なくご相談ください。

## ●資料貸出にあたっての注意点

- ・資料を転貸することは禁止します。
- ・資料の貸出・返却は博物館でおこないます（開館時間 9:00～17:00）。
- ・貸出期間は原則として 2 週間です。貸出が集中する時期は、貸出期間が短くなる場合があります。申請期日までに資料を返却できなくなった場合は、速やかに連絡してください。
- ・資料は必ずもとの状態で返却ください。損傷・亡失したときは、速やかに連絡してください。場合によっては同等品で弁償していただくことがあります。
- ・資料は必ず鍵のかかる部屋で保管願います。
- ・使用目的及び管理上の理由から貸出をすることが適当でないとは判断されたときは、貸出をおこないません。

※【見学】【体験学習】【出前授業】【資料貸出】の詳細、実績については、富士山かぐや姫ミュージアム『館報』のバックナンバーをご参照ください。

『館報』は、市内の図書館等で閲覧いただくか、下記 URL から H27～R 6 年度の館報をダウンロードいただけます。

<https://museum.city.fuji.shizuoka.jp/report/index.html>

## 富士山かぐや姫ミュージアム本館

富士山かぐや姫ミュージアムでは、雄大な富士山に抱かれ、古来、「富士」と呼ばれてきたこの地域に暮らした人びとの歴史や文化の特徴について、「富士に生きる」という大きなコンセプトのもとでご紹介しています。なかでも、富士山南麓を舞台としたかぐや姫の伝承に焦点をあて、信仰の山・富士の姿を地域に根ざした視点から紐解いてまいります。

展示全体を通して、世界文化遺産・富士山と共に歩んできた人びとの力をみなさまに体感していただければ幸いです。

### 展示室1

富士山南麓の地に生活してきた人々の歴史や文化について、時代順・テーマ別に展示しています。



**富士の舞台：富士の土地の成り立ち**

現在とは大きく異なる、昔の富士の地形を学べます。今泉で出土した約1700年前の木造船は、全国的にも貴重です。



**富士の黎明：縄文のムラと暮らし**

本物の縄文土器に彩られた縄文ジオラマが見どころ。



**富士の黎明：集落の成熟と王の誕生**

弥生～古墳時代について紹介。工業都市・富士のさきがけ！  
古代エンジニアの古墳出土品に注目。



**富士の黎明：富士の名を冠する郡へ**

古代の富士郡役所とその周辺について展示。「布自」（ふじ）と書かれた土器が見どころ。



**動乱から泰平の世へ：社会のみだれと神仏への祈り**  
平安時代末から鎌倉時代の信仰や動乱を紹介。



**動乱から泰平の世へ：富士山東泉院**  
戦国から泰平の世を駆け抜けた、富士郡下方の領主・東泉院の史料に注目。



**街道と宿場のにぎわい**  
吉原宿の町なみを再現したジオラマが見どころ。



**富士川舟運と渡船**  
東海道の渡船場であり、駿河・甲斐を結ぶ水運の拠点であった岩淵と富士川の歴史を紹介。



**水とともに生きる**  
富士川や潤井川、浮島沼を制し、また活かしてきた先人たちの営みを紹介。



**富士の災害**  
富士に生きる人びとが長く付き合ってきた自然災害（富士火山・地震・台風と高潮）について紹介。富士市域に降り積もった火山灰や、津波で被災したロシア軍艦・ディアナ号にまつわる歴史は必見。



## 展示室3

富士市には、かぐや姫が富士山に帰り、富士山の祭神になったという独特なかぐや姫伝説が伝わっています。この展示室では、富士山とかぐや姫のつながりを示す歴史資料や、富士山南麓で活動した修験者について紹介しています。



### 竹取物語へのいざない

広く一般に知られる竹取物語のあらすじと、世界各地の言語に翻訳された竹取物語の絵本や書籍を展示。



### 富士山のかぐや姫

富士山のかぐや姫物語のあらすじを、影絵と映像によって紹介。かぐや姫と帝(みかど)の恋の行方は?!



### かぐや姫と富士山縁起

富士山のかぐや姫物語が記された、「富士山縁起(えんぎ)」と呼ばれる史料を紹介。その達筆ぶりに注目!



### 富士山登山絵図

富士山信仰を広めるために修験者たちが配った江戸時代の観光ガイド「富士山登山絵図」を紹介。



### 南麓に受け継がれる富士山信仰—岩淵鳥居講

富士川の渡船場・河岸場として栄えた岩淵に今も伝わる、富士山頂への鳥居奉納儀礼を紹介。

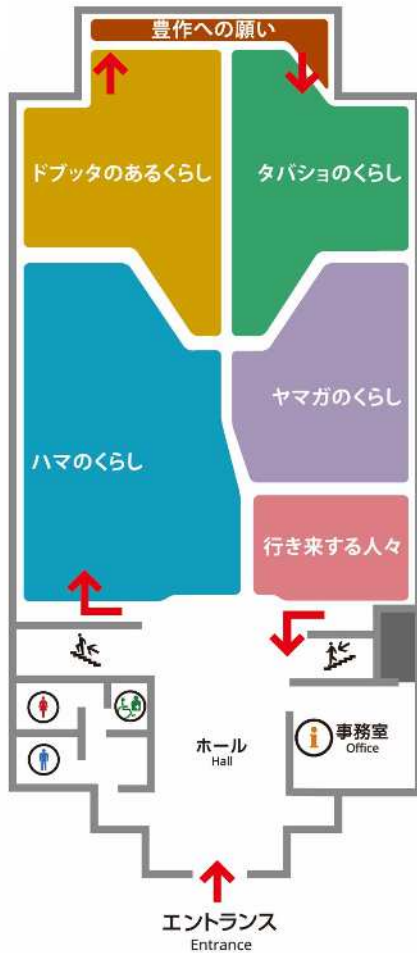


## 歴史民俗資料館(博物館分館)

### 1階フロア

富士市域は、駿河湾の海岸から富士川・潤井川などの河川によるなだらかな扇状地と東部の低湿地、富士山・愛鷹山へと続く斜面の間に広がります。海岸の漁村から最北の山村までの標高差 800mの間、それぞれの地に適したくらしを営んだ人びとの姿をご紹介します。

1F



#### ハマのくらし

駿河湾沿岸部で営まれていた生業について紹介。



#### ドブツタのあるくらし

浮島沼周辺の湿田とそこで使われた農具(県指定文化財)について紹介。



#### 豊作への願い

米の収穫から脱穀・精米の道具を紹介。



#### ヤマガのくらし

富士山南麓の生業や茶作りの道具を紹介。

## 2階フロア

富士山南麓の豊富な森林資源や水を利用して発達してきた紙のまち・富士の歴史や学校教育、子どもの遊びや紙のおもちゃなどを展示しています。また、近代の戦争と戦時中の暮らしについての展示も見るすることができます。

「紙のまち」というフィルターを通して、富士市の近代と未来の姿を考えます。

## 2F



**手すき和紙**

原料の刈り取りから紙を漉くまでの工程を紹介。



**近代製紙の幕開け**

世界で評価された明治期の富士ブランド「佐野熊ナブキン」に注目。



**紙のまちへのあゆみ**

太平洋戦争から高度経済成長期の製紙業のあゆみと、その後の環境に配慮した紙づくりについて紹介。



**子どもの遊びと学び**

学校教育の歴史や学習用具・教具・子どものおもちゃを展示。



## 富士川民俗資料館(博物館分館/富士市指定有形文化財稲葉家住宅)

南松野桑木野<sup>かぎの</sup>にあった稲葉家住宅を移築復原。江戸時代中頃の建築とされ、田の字型の間取りで、富士川下流域の農家の典型的な姿を残しています。屋内では松野の暮らしにまつわる道具を展示・収蔵しています。



## こやすみほんじんときわけ 小休本陣常盤家住宅主屋 (国登録有形文化財)

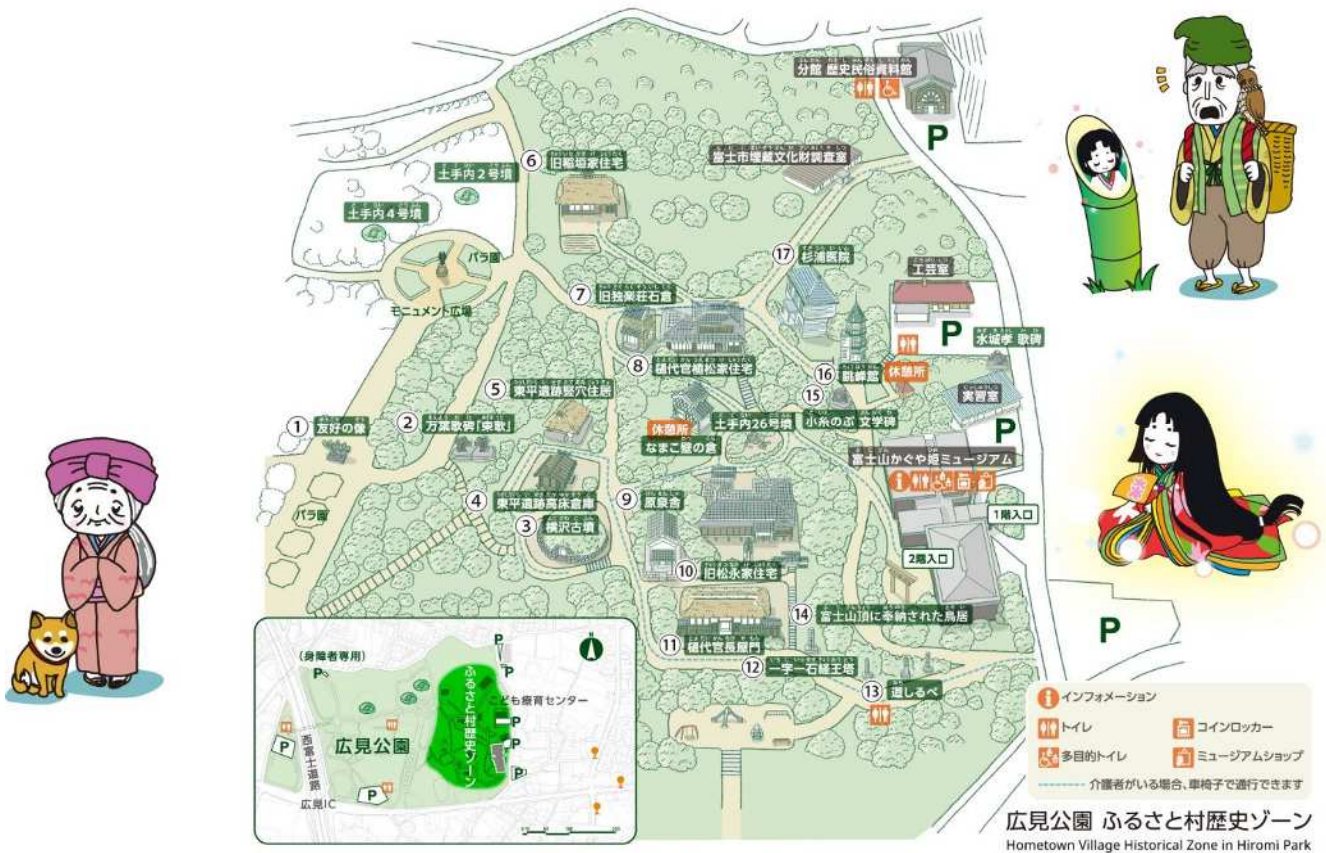
旧小休本陣とは宿と宿の間にある間宿<sup>あいのしゆく</sup>で、主に通行している大名や身分のある諸家の休憩のみを目的とした施設をいいます。間宿岩淵には、富士川の増水に伴う川留めにより、旅人が待機する場所が必要だったので、特に小休本陣がおかれていました。常盤家は小休本陣を営むとともに、富士川の渡船役もつとめていました。

居室の一番奥には大名などの賓客<sup>ひんきやく</sup>が使用した「上段の間」と呼ばれる部屋があります。この部屋は隣の部屋よりも床を9cmほど高くし、床の間と違い棚を設け、長押<sup>ながし</sup>をまわす格式の高い造りとなっています。



## 広見公園ふるさと村歴史ゾーン

移築復元家屋等が多数展示されています。ふるさと村全体の見学時間はおよそ 40 分です。



★静岡県指定有形文化財 ☆富士市指定有形文化財

①友好の像	日露和親条約締結 140 周年を記念して、ロシアから寄贈されました。
②万葉歌碑 東歌	7～8 世紀中頃の東国の庶民が歌ったものです。
③横沢古墳	公園の北西、伝法沢沿いに築かれた古墳。人骨の他、馬具、直刀などの副葬品が出土しました。お申込みいただければ石室を見学することができます（15 人まで）。
④東平遺跡高床倉庫	東平遺跡は、富士 IC 周辺にあった奈良～平安時代の集落跡で、富士郡の役所と関わりがあったと考えられています。この倉庫は発掘調査に基づいて復元したものです。
⑤東平遺跡竪穴住居	火災で焼失したこの住居からは、土器のほか多数の鉄器が出土。集落の中心的な役割をもった人が居住していたと考えられています。
⑥★旧稲垣家住宅	文化元年(1804)建造。養蚕をおこなうための「兜造り」の屋根を有します。
⑦旧独楽荘石倉	興津に建てられた伊藤博文の養子・博邦の別荘にあった石倉。大正 9 年(1920)頃。
⑧☆樋代官植松家住宅	鷹岡・伝法の用水を管理し樋代官と呼ばれた、厚原・植松家の住宅。幕末期の当時としては珍しい 2 階建です。
⑨☆原泉舎	明治 6 年（1873）に今泉小学校の前身として使用された仮教場です。嘉永元年(1848)建造。
⑩☆旧松永家住宅	平垣にあった豪農・松永家の住宅の一部を移築。武家風様式を残す貴重な建物です。安政 4 年(1857)建造。
⑪☆樋代官長屋門	鷹岡・伝法の用水を管理し樋代官と呼ばれた、厚原・植松家の長屋門。



⑫一字一石経王塔	小石に経文の一字を記入して土中に埋め、その上に石碑を建てたものです。
⑬道しるべ	富士市内にあった東海道や根方街道などの道しるべ。
⑭富士山頂に奉納された鳥居	岩淵鳥居講の講員によって、平成 16 年（2004）に富士山頂に奉納された鳥居です。岩淵では江戸時代より、12 年に一度、申の年に鳥居の奉納が行われています。
⑮小糸のぶ文学碑	明治 38 年(1905)吉原に生まれ、小学校教師を勤めた小糸のぶの脚本の一部です。
⑯☆眺峰館	現吉原二丁目にあった、料理店の玄関として建てられた洋風建物。屋根には避雷針がついています。明治 25 年(1892)建造。
⑰☆杉浦医院	現中央町一丁目にあった医院。70 年間にわたり地域医療を担っていました。大正 8 年(1919)建造。



③横沢古墳(古墳時代)



④東平遺跡高床倉庫(奈良・平安時代)※復元



⑤東平遺跡竪穴住居(奈良・平安時代)※復元



⑥★旧稲垣家住宅(江戸時代～)



⑨☆原泉舎(江戸時代～)



⑭富士山頂に奉納された鳥居(平成 16 年)

# 富士市立博物館 利用申込書

館長	僚

令和 年 月 日

富士市立博物館長 宛

学校名  
校長名  
住 所  
電話番号 ( )  
担当者名

次のとおり博物館を利用したいので、申請します。

日 時	令和 年 月 日 ( ) 時 分から 時 分		
内 容	<p><b>【見 学】</b> ※希望箇所、説明の有無に○をつけて下さい。稲垣家はイロリ有の場合説明もつきます。  <b>本館</b> (説明：有・無)・<b>歴史民俗資料館</b> (説明：有・無)・<b>古墳</b> (説明：有・無)  <b>稲垣家</b> (イロリ点火：有・無)・<b>その他屋外展示</b> (説明：有 [全体・ ]・無)  <b>富士川民俗資料館</b> (説明：有・無)・<b>小休本陣常盤家住宅</b> (説明：有・無)</p>		
	<p><b>【体 験】</b> ※その他の体験を希望の場合は事前に担当職員と打ち合わせをして下さい。          火おこし・紙すき・勾玉作り・土器作り&amp;野焼き・古代米・稲垣家かまど          その他( )・<b>職場体験</b></p>		
	<p><b>【出前授業】</b> について</p>		
利用場所	<p><b>【博物館】</b> ※空き状況によりますので事前に担当と打ち合わせをして下さい。          上記見学場所と同じ・<b>実習室</b> (紙すき)・<b>陶芸室</b>・<b>染色室</b>・<b>稲垣家</b>・その他( )</p>		
	<p><b>【昼 食】</b> とる (広見公園・その他 ) とらない          雨天の場合 (バス・稲垣家・染色室・講座室 )</p>		
	<p><b>【学 校】</b> 教 室・体育館・校 庭・その他 ( )</p>		
	<p>※広見公園ご利用の際は、施設利用振興公社へご連絡願います (0545-55-3553)。</p>		
年・人数	学年	クラス	名
教 員 名			名
教 科			使用バス 台
単 元 名			駐車場 P1・P2・公園
備 考		担当職員	※記入しないでください。 要説 ( )・なし

# 資料借用申請書

令和 年 月 日

富士市立博物館長 宛

学 校 名  
校 長 名  
住 所  
連 絡 先 ( )  
担 当 者 名

次のとおり借用したいので、申請します。

資 料 名	数 量	資 料 名	数 量
学年 クラス 人数	年 組 名		
教 科 名		担当者名	
単 元 名 (単元のねらい)	( )		
借 用 理 由			
借 用 期 間	令和 年 月 日( )から 令和 年 月 日( )まで		
備 考			

### 資料貸出にあたっての注意点

- ・ 資料を転貸することは禁止します。
- ・ 資料の貸出・返却は博物館でおこないます(開館時間 9:00~17:00)。
- ・ 貸出期間は原則として2週間です。貸出が集中する時期は、貸出期間が短くなる場合があります。申請期日までに資料を返却できなくなった場合は、速やかに連絡してください。
- ・ 資料は必ずもとの状態で返却ください。損傷・亡失したときは、速やかに連絡してください。場合によっては同等品で弁償していただくことがあります。
- ・ 資料は必ず鍵のかかる部屋で保管願います。

## 利用案内

### <富士山かくや姫ミュージアム（富士市立博物館）>

- ◇所在地 〒417-0061 静岡県富士市伝法66番地の2 TEL 0545-21-3380 FAX 0545-21-3398
- ◇開館時間 通年9:00～17:00
- ◇休館日 月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始
- ◇観覧料 無料
- ◇交通 J R 線：J R 東海道本線富士駅・吉原駅、東海道新幹線新富士駅から車で20分  
路線バス：吉原中央駅③番線で乗車、「広見団地入口」下車、徒歩3分  
高速バス：富士IC「東名富士」下車、徒歩20分  
車：西富士道路「大淵・広見インター」降りて東へ1分、駐車場あり

### <富士市立歴史民俗資料館（博物館分館）>

- ◇所在地 〒417-0061 静岡県富士市伝法86番地の7 TEL・FAXは博物館に同じ  
博物館より北へ徒歩3分 \* 広見公園歴史ゾーン(博物館に隣接)に屋外展示
- ◇開館時間・休館日・お問い合わせ先は博物館に同じ
- ◇観覧料 無料

### <富士市立富士川民俗資料館（博物館分館／稲葉家住宅）>

- ◇所在地 〒421-3305 静岡県富士市岩淵8-1 TEL・FAXは博物館に同じ
- ◇開館日 土・日・祝日（開館時間は博物館と同じ）\* 学校から見学申し込みがあれば、平日でも開館対応します。
- ◇観覧料 無料
- ◇お問い合わせ先は博物館に同じ
- ◇交通 J R 線：J R 東海道本線富士川駅から徒歩15分  
高速バス：東名富士川SA「東名富士川」下車、徒歩15分  
車：東名高速道路富士IC降りて南西へ約30分、または、東名富士川SAスマートIC降りて南西へ2分）、  
駐車場あり

### <小休本陣常盤家住宅主屋（国登録有形文化財）>

- ◇所在地 〒421-3305 静岡県富士市岩淵455 TEL・FAXは博物館に同じ
- ◇開館日 土・日・祝日（開館時間は9:00～16:00）\* 学校から見学申し込みがあれば、平日でも開館対応します。
- ◇観覧料 無料
- ◇お問い合わせ先は博物館に同じ
- ◇交通 J R 線：J R 東海道本線富士川駅から徒歩20分  
高速バス：東名富士川SA「東名富士川」下車、徒歩10分  
車：駐車場がございませんので車でのご来場はご遠慮願います。

